

平成21年度実質当初予算主要事業

(平成21年度当初予算及び平成20年度第1次3月補正予算)

I 緊急経済・雇用対策と景気回復を見据えた先行投資

1 経営・資金・雇用のセーフティネット

- (1) 経営の安心
- (2) 資金(金融)の安心
- (3) 雇用の安心

2 競争力のある元気な産業づくり

3 公共投資の確保による内需の拡大

II 未来を切り拓く施策の展開

1 交流が盛んな特色ある地域づくり

- (1) 北陸新幹線の早期実現
- (2) 三大都市圏誘客1千万人構想と海外誘客10倍増構想の推進
- (3) 人・ものの広域交流のための基盤整備の推進

2 個性を活かした文化と学術の地域づくり

- (1) 伝統文化の継承・発展と新たな文化の創造
- (2) 高等教育機関の集積を活かした「学都石川」の魅力発信
- (3) 世界に開かれた多文化の共生と交流

3 みんなで支える安らぎのある社会づくり

- (1) 少子化対策最先進県を目指した取り組みの拡充
- (2) 高齢者の健やかな暮らしへの支援
- (3) 障害者の自立と社会参加への支援
- (4) 県民のこころとからだの健康づくり
- (5) 男女共同参画社会の形成

4 安全でうるおい豊かな環境づくり

- (1) 官民一体となった災害に強い県土づくり
- (2) 安全で良質な地域医療の安定的な確保
- (3) 身近な安全・安心が確保された社会づくり
- (4) 地球温暖化防止の取り組みと環境負荷の少ない社会づくり
- (5) 自然と人が共生できる社会づくり

5 自律した持続可能な地域づくり

- (1) 能登半島地震からの創造的復興
- (2) 地域主導の地域づくりへの支援
- (3) 魅力ある石川の景観の保全と創出
- (4) 中心市街地の再生・活性化
- (5) 快適な生活空間づくり
- (6) 支え合いによる活力ある地域コミュニティの再生

6 未来を拓く心豊かな人づくり

- (1) 個性を伸ばす学校づくり
- (2) 建学の精神を尊重した私学の振興
- (3) スポーツ・生涯学習の振興

7 魅力ある産業としての農林水産業づくり

- (1) 次世代に向けた農業人材の育成
- (2) 消費者ニーズに応える戦略的な生産と流通の確立
- (3) 競争力のある林業・木材産業の育成
- (4) 水産資源の回復と流通の効率化による水産業の活性化
- (5) 農林水産業・農山漁村の多面的な機能の保全・発揮

III 地方分権時代における自立的かつ持続可能な 行財政基盤の確立

1 厳しい財政状況の下での財政健全性の維持

2 時代の変化や市町・民間との役割分担を踏まえた 県行政の守備範囲の見直し

3 事務処理の工夫による業務の効率化

I 緊急経済・雇用対策と景気回復を見据えた先行投資

1 経営・資金・雇用のセーフティネット

(1) 経営の安心

－	地場産業の経営安定・基盤強化に向けた総合支援	
	㊦ 再生・事業転換プログラムの推進	22,200 千円
	外部専門家を活用した経営コンサルティングの拡大(345回→530回)など	
	㊧ 建設業複業化(新分野進出)支援プログラムの創設	33,000 千円
	相談体制強化、初期投資の一部助成、県入札参加資格の優遇措置、 事業転換支援融資の優遇措置	
－	販路・受注開拓支援の強化	31,698 千円
	㊦ 受注開拓懇談会の拡充(県外1回→2回)、	
	㊧ 産業創出支援機構に緊急販路開拓推進室(仮称)を設置	
－	㊧ ふるさと雇用再生特別基金を活用した受注・販路開拓推進員の設置	
	産業創出支援機構など	
－	㊧ 地場産業マッチング商談会の開催支援	1,500 千円
	商工会議所等主催の中小企業向け商談会	
－	食品産業の市場開拓への支援	2,000 千円
	FOODEX JAPAN(国際食品見本市)への出展助成	
－	IT産業の市場開拓への支援	2,500 千円
	大手IT企業と県内IT企業との共同商品開発	
－	いしかわ産業化資源活用推進ファンドを活用した緊急支援	
	㊧ 小規模企業(従業員数5人以下)の商品づくりを支援	
－	県内企業の海外戦略の強化	
	国際ビジネスサポートデスクの運営	1,060 千円
	㊧ 海外バイヤー招聘による販路開拓支援	800 千円
	中国における販路開拓支援	8,600 千円
	ビジネス研究会、商談会の開催、㊧ トライアルショップの設置など	
－	㊧ 伝統工芸品のモニター商品製作	43,000 千円

(2) 資金(金融)の安心

－	経営安定支援融資	新規融資枠	139,600,000 千円
	うち緊急経営安定支援融資	新規融資枠	45,000,000 千円
	うち経営安定支援融資(借換資金)	新規融資枠	21,000,000 千円
－	構造改革支援融資	新規融資枠	33,500,000 千円

(3) 雇用の安心

－	㊧ 緊急雇用対策室の設置	
－	求人開拓推進員の配置(4人)	10,000 千円
－	㊦ 緊急ミニ合同面接会の開催(月4回程度)	1,000 千円
－	㊦ いしかわジョブ・トライアルの拡充	67,700 千円
	職場実習(100人→500人)	
－	離職者向けの職業訓練の拡充	
	㊦ 短期の職業能力開発(167人→785人)	215,121 千円
	ホームヘルパー、情報処理技術者など	
	㊧ 介護福祉士の養成(60人)	45,880 千円
－	デュアルシステムによる就労の促進	24,005 千円
	座学・実習訓練(110人)	
－	㊧ キャリア転換への支援(40人)	3,200 千円
	離職予定者への職業訓練(ホームヘルパー等)	
－	㊧ 雇用維持支援型オーダーメイドセミナーの開催	4,000 千円
	生産調整中の企業の在職者技能向上(400人)	

—	大卒者等合同就職面接会の拡大 8月、 11 11月	2,000 千円
—	若者女性しごと情報館の運営 若者の職業選択への支援、女性の再就職への支援など	80,900 千円
—	11 基金の活用による雇用の創出 継続的雇用の創出(ふるさと雇用再生特別基金) 県分(販路・受注開拓促進など、新規雇用108人) 市町分(新規雇用182人) 緊急雇用の創出(緊急雇用創出事業臨時特例基金) 県分(環境美化、データ入力など、新規雇用885人) 市町分(新規雇用568人)	1,042,000 千円 952,868 千円

2 競争力のある元気な産業づくり

・	産業革新戦略の推進	
—	11 戦略の中間評価、後期行動計画の策定	5,000 千円
・	次世代型企業の育成・支援	
—	次世代産業の創出支援	
	11 炭素繊維、環境ビジネス、バイオ・アグリビジネスの研究開発支援	50,000 千円
	11 ふるさと雇用再生特別基金を活用したプロジェクトマネージャーの設置 産業創出支援機構	
—	12 競争力強化に向けた生産技術開発支援の拡充	20,000 千円
	機械・繊維・食品・IT産業から製造業全体へ対象を拡大	
—	機械産業の新分野への参入・展開の支援	3,000 千円
	航空機・医療機器・農林業機械・環境配慮型自動車分野など	
—	モノづくり産業のビジネス展開への支援	2,300 千円
	11 県外大手メーカーと県内企業との展示・商談会	
—	繊維ルネッサンスの展開	10,000 千円
	首都圏アパレル企業との共同商品開発・懇談会の開催、ジャパン・クリエーション等への出展	
—	ニッチトップ企業など次世代型企业群の創成支援	26,388 千円
	ニッチトップ・革新的ベンチャー認定企業への専門家派遣等による集中支援	
・	産学・産業間連携による新産業の創出	
—	ほくりく健康創造クラスター構想の推進	5,000 千円
	知的クラスター創成事業Ⅱ期(7.5億円×5年間(H20～24))に対する支援	
—	大学の研究シーズを活用した新事業の創出支援	13,260 千円
	いしかわ大学連携インキュベータ(i-BIRD)の入居企業に対する賃借料助成	
—	いしかわサイエンスパークの新産業創造拠点化	53,354 千円
	いしかわフロンティアラボ、クリエイトラボ入居企業に対する支援	
—	「石川新情報書府」第4期構想の推進	20,000 千円
	地場産業と連携したコンテンツ産業の新たなビジネス展開への支援など	
—	モノづくり支援機能の強化(工業試験場)	111,500 千円
	新製品開発支援のための機器整備	
・	産業人材の育成	
—	11 いしかわ産業人材構想(仮称)の策定	3,000 千円
—	モノづくり企業の在職者スキルアップ	
	モノづくり技能継承塾の開催	7,496 千円
	機械加工・溶接技能訓練(小松産業技術専門学校)	
	12 モノづくり基礎力向上セミナーの開催	7,500 千円
	新入社員等の基礎訓練(金沢、 11 小松産業技術専門学校)	
—	産業界のニーズに対応したモノづくり人材の育成	8,000 千円
	高等学校(工業科)における生徒・教員の企業実習・研修など	

—	子ども達へのモノづくりの魅力発信 ⑧中・高校生向けキャリア教育冊子を活用した情報発信、 ⑧小・中学生対象のモノづくりトライアルの開催	3,200 千円
—	高度専門技術人材の確保等UIターンの促進 首都圏等における相談窓口の設置、求人・求職情報の提供、 首都圏等の人材紹介会社とのネットワークを活用したUIターン支援	7,019 千円
—	ふるさと就職の促進 合同企業説明会の開催、企業情報誌の提供	7,900 千円
・	戦略的な企業誘致の推進	
—	創造的産業等立地促進条例による企業誘致の推進	363,000 千円
—	雇用拡大関連企業立地促進補助金による企業誘致の推進	601,000 千円
・	伝統産業の振興	
—	新商品研究開発・商品提案力育成への支援 商品開発から見本市出展までの一貫した助成	13,960 千円
—	国内・海外の販路開拓支援 国内外の見本市出展への助成	5,200 千円
—	伝統的工芸品見本市などの開催に対する支援 いしかわ伝統工芸フェア(H22年2月、東京)	18,000 千円
3	公共投資の確保による内需の拡大	
	投資的経費	99,231,639 千円
		(うち第1次3月補正 6,793,363 千円)
	うち単独事業	30,512,589 千円
		(うち第1次3月補正 3,414,554 千円)
—	生活密着型道路等の整備 通学路の蓋付き側溝、幹線道路の舗装補修、消雪、ガード下冠水対策など	3,829,551 千円
		(うち第1次3月補正 1,943,791 千円)
—	安全・安心確保のための公共施設の整備 河川改良、砂防、河川堆積土砂除去、学校等の耐震補強、橋りょう補修など	7,259,130 千円
		(うち第1次3月補正 1,152,000 千円)
II	未来を切り拓く施策の展開	
1	交流が盛んな特色ある地域づくり	
(1)	北陸新幹線の早期実現	
・	⑧新幹線・交通対策監及び新幹線・交通対策監室の設置	
・	北陸新幹線の建設促進	
—	北陸新幹線建設費負担金 長野～白山総合車両基地間	3,744,487 千円
・	北陸新幹線開業効果の最大限の発現と並行在来線の運営に向けた調査・検討	
—	新幹線開業に向けたアクションプラン(STEP21)の推進	5,000 千円
—	⑧並行在来線の運行計画等検討のための基本調査	10,000 千円
—	⑧二次交通アクセスの強化に向けた実態調査	2,500 千円
(2)	三大都市圏誘客1千万人構想と海外誘客10倍増構想の推進	
—	三大都市圏誘客1千万人構想の推進 広域周遊観光の推進	17,686 千円
	⑧白山広域ガイドブックの作成(岐阜県、福井県、富山県と連携)、 ⑧白山周遊イラストマップの作成、 温泉地等宿泊者への白山スーパー林道通行料金半額助成など	

	三大都市圏等における観光石川の発信	74,400 千円
	首都圏いしかわ交流会等の開催、 首都圏のコンビニエンスストアとの連携による情報発信、 石川県観光物産PRセンターによる情報発信、 東海北陸自動車道全通効果を持続するための中京圏でのPR、 ⑧静岡便就航記念キャンペーンの実施など	
	ターゲットを絞った効果的な情報発信による誘客促進	7,700 千円
	⑧修学旅行誘致のための学校直接訪問、 退職者会、老人クラブなどを対象としたシルバーウェルカムキャンペーン、 「アニバーサリー だから いしかわ」キャンペーンの実施など	
	⑧ 戦略的なコンベンションの誘致	1,000 千円
	各種学会・会議主催者の意志決定段階での積極的アプローチなど	
ー	海外誘客10倍増構想の推進	
	台湾、中国、香港、韓国からの誘客促進	16,000 千円
	⑧個人旅行者向けガイドブックの作成、⑧高雄旅行博への出展、 ⑧韓国アウトドア・レジャー見本市への出展、 誘客コーディネーターの設置(台湾、⑧韓国)など	
	欧州、豪州からの誘客促進	11,000 千円
	⑧インターネットを活用した認知度の向上、豪旅行会社・⑧仏メディア招へい、 ⑧国内ランドオペレーターとの連携による誘客活動	
	⑧ 円高を受けた緊急的誘客対策	5,000 千円
	民間による個別商談会の開催支援など	
	⑧ 外国人観光客の受入環境づくりの推進	2,000 千円
	言語サポート体制、案内サインなどの充実に向けた計画策定	
ー	新たな旅行ニーズへの対応と観光地の魅力アップ	
	産業観光の推進	3,000 千円
	産業観光の誘客モデル構築、受入環境整備への支援など	
	⑧ ヘルスツーリズム推進モデルの検討	4,000 千円
	奥能登における食や自然環境等(癒しの空間)の活用	
	エコツーリズムの推進	1,500 千円
	⑧モニターツアーの実施	
	グリーン・ツーリズムの推進	3,600 千円
	農家民宿開業講座、温泉地と連携した着地型観光メニューづくりなど	
ー	観光地の活性化への支援	
	加賀四湯博の開催	17,600 千円
	加賀四湯本の発行、白山スーパー林道通行料金半額助成(再掲)など 能登ふるさと博の開催(中小企業復興支援基金) 灯りでつなぐ能登半島、蔵コンサート、能登秘宝めぐりなど	
ー	のとじま水族館の魅力アップ(県民ふれあい公社)	
	⑧ パノラマ大水槽の整備	800,000 千円
	⑧ コツメカワウソ水槽のオープン(H21年4月)	
ー	いしかわ動物園の魅力アップ	
	⑧ イヌワシ舎、ヒヨウ・ピューマ舎の改修	96,700 千円
	⑧ トラ舎、ライオン舎のリニューアルオープン(H21年4月)	

(3) 人・ものの広域交流のための基盤整備の推進

・ 航空ネットワークを活用した交流の促進

ー 小松空港

国内旅客便の利用促進 29,400 千円

⑧静岡便就航記念事業、⑧羽田乗継利用促進など

国際旅客便の利用促進 40,844 千円

定期便の広告宣伝(台北便、上海便、ソウル便)など

	国際貨物便の利用促進	26,220 千円
	荷主企業に対するPR活動、 ^⑧ 貨物集荷対策助成など	
—	能登空港	
	安定需要の確保に向けた利用促進活動の展開	105,000 千円
	^⑧ 100万人利用記念事業、ガイドブック作成など	
	国際インバウンドチャーター便の運航支援	12,000 千円
	二次交通(ふるさとタクシー)の運行支援	2,531 千円
・	港湾機能の充実による物流等の促進	
—	金沢港の建設促進	
	大水深岸壁の整備	1,516,900 千円
		(うち第1次3月補正 88,900 千円)
	金石・大野埋立用地の整備	360,000 千円
	御供田ふ頭コンテナターミナルの整備	21,000 千円
—	七尾港の建設促進	
	大水深岸壁の整備	94,791 千円
—	輪島港マリンタウンプロジェクトの促進	
	旅客船岸壁の整備	490,000 千円
		(うち第1次3月補正 259,000 千円)
—	金沢港・七尾港の活用促進	
	^⑧ 金沢港の利用貨物拡大への支援	2,000 千円
	荷主の利用拡大に対する助成	
	金沢港への新規航路等の誘致促進	1,000 千円
	国内外でのポートセールス等の実施	8,153 千円
・	多重な道路網の整備 ～「ダブルラダー結いの道」整備構想の推進～	
—	地域高規格道路の整備	
	金沢外環状道路 海側幹線	
	南部延伸(白山市乾町～金沢市福増町間) 債務を含め	3,150,000 千円
		(うち第1次3月補正 466,000 千円)
	北部延伸(金沢市鞍月～大河端町間)	2,016,000 千円
	金沢能登連絡道路(直線化区間)	560,000 千円
		(うち第1次3月補正 80,000 千円)
—	広域交流幹線軸道路の整備	
	珠洲道路	236,200 千円
	輪島道路	20,000 千円
	能登有料道路	377,530 千円
	ゆずりレーンⅤ期(穴水町越の原地内)	
	ゆずりレーンⅣ期(七尾市中島町北免田地内)	
	ゆずりレーンⅢ期延伸(七尾市中島町田岸地内)(H21完成予定)	
	別所岳SA拡張(遊歩道・広場整備)(H21完成予定)	
	^⑧ 県立看護大ICフルインター化(道路公社)など	
	七尾道路	105,000 千円
	河北縦断道路	290,000 千円
	金沢井波線	1,250,000 千円
	南加賀道路	845,050 千円
		(うち第1次3月補正 170,000 千円)
—	地域振興道路の整備	
	広域営農団地農道	901,950 千円
	ふるさと農道・林道	458,000 千円
—	交流・物流拠点連結道路の整備	
	城山線	債務を含め 330,000 千円
	高松インター通り線	137,000 千円

白山IC(仮称)	債務を含め	1,460,000 千円
	(うち第1次3月補正	125,000 千円)
倉部金沢線		140,000 千円
小松加賀線		35,000 千円

2 個性を活かした文化と学術の地域づくり

(1) 伝統文化の継承・発展と新たな文化の創造

－	しいのき迎賓館の整備 旧県庁舎本館南ブロックの改修、H22年春完成予定	2,083,000 千円
－	しいのき迎賓館周辺敷地の緑地整備等	615,300 千円
－	広坂周辺の将来構想の検討	1,000 千円
－	金沢城の魅力の発信 金沢城公園の整備	987,320 千円
	(うち第1次3月補正	39,820 千円)
	河北門の復元・いもり堀の水堀化(H22年春完成予定)、石垣回廊の整備、 ⑧玉泉院丸跡調査検討委員会の設置など	
	金沢城石川門の保存修理(附属右方太鼓塀など)	129,000 千円
	金沢城の調査研究 石垣構築技術など	23,134 千円
	城と庭との連携による新たな魅力の発信 ⑧外国人観光客に対応したガイドツアーの実施など	6,500 千円
	「金沢城・兼六園四季物語」の展開 金沢城や兼六園を活用した多彩なイベントを開催	10,240 千円
－	兼六園周辺文化の森の魅力アップ 兼六園周辺文化の森の活性化 ミュージアムウィーク開催、「金沢芸妓の舞」等伝統芸能鑑賞機会の提供など 美術館企画展の開催 「東京藝術大学コレクション展」など	7,800 千円
	⑧前田育徳会尊経閣文庫分館の魅力発信 文化講座の開催、音声ガイドによる紹介	2,500 千円
	歴史博物館特別展の開催 「本願寺展」など	18,465 千円
	石川四高記念文化交流館企画展の開催 「文学に描かれた加賀藩 前田家」など	15,742 千円
	本多の森公園の整備検討	2,000 千円
－	世界遺産登録に向けた取り組み 文化遺産学術調査委員会の開催、学術的考察を深めるテーマ別研究、 戸室石切丁場の総合調査、キャンペーン事業への支援など	23,711 千円
－	豊かな文化の創造と発信 音楽堂自主事業の展開 ラ・フォル・ジュルネ金沢「熱狂の日」音楽祭2009の開催 H21年4月28日～5月4日 ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭の開催 オーケストラ・アンサンブル金沢の海外交流の推進 ヨーロッパ公演の実施、 ⑧ドイツ・ドレスデン国立歌劇場管弦楽団への楽団員派遣	30,700 千円
		10,000 千円
		54,000 千円
		2,500 千円
(2)	高等教育機関の集積を活かした「学都石川」の魅力発信	
－	高等教育機関の「学び」の環境の充実 大学コンソーシアム石川に対する支援 いしかわシティカレッジ事業の推進など	21,945 千円

—	高等教育機関との連携による学術交流の推進	
	国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・	25,858 千円
	ユニットとの連携	
	共同研究プロジェクト(里山、里海等)の実施など	
	⑧ いしかわ国連スタディビジット・プログラムの実施	2,000 千円
	国連の取り組みへの理解を深める機会を学生に提供	
	里山里海国際交流フォーラムの開催	2,000 千円
	COP10(生物多様性条約第10回締約国会議 H22年開催)	
	に向けた石川の里山里海の魅力発信	
—	⑧ アジア太平洋環境開発フォーラムの開催	12,000 千円
	H21年7月下旬～8月上旬	
—	高等教育機関の地域貢献による地域活性化の推進	17,000 千円
	県内高等教育機関と地域の連携による研究プロジェクトへの支援など	
—	県立大学大学院の開設	
	H21年4月	
—	⑧ 県立大学法人化準備室の設置	
—	看護大学及び県立大学の公立大学法人化準備	8,500 千円
(3)	世界に開かれた多文化の共生と交流	
—	外国人との共生・交流社会づくりの推進	2,000 千円
	⑧モデル地域での多文化共生推進員の配置、	
	医療・観光通訳ボランティアの育成など	
—	日本語・日本文化研修センターの運営	29,027 千円
	本県独自の日本語・日本文化研修プログラムの実施	
—	中国江蘇省との地域活性化交流の推進	14,980 千円
	経済・観光・人材・環境分野での交流、若手日本語教師の研修受入	
3	みんなで支える安らぎのある社会づくり	
(1)	少子化対策最先進県を目指した取り組みの拡充	
・	社会全体による子育て支援の推進	
—	子育てに対する社会的理解の促進	
	⑧ いしかわエンゼルプランの改定	2,200 千円
	プレミアム・パスポート事業の推進	2,300 千円
	優良協賛企業の表彰など	
	ふるさといしかわ子育て応援ファンドによる事業展開	
	児童・生徒と乳幼児のふれあい体験など	
	⑧ 地域住民による子育て支援の促進	2,000 千円
	エンゼル券を活用した子育て応援のネットワークづくり	
—	ワークライフバランス実現のための企業の取り組みの促進	
	⑧ 一般事業主行動計画の策定促進	2,000 千円
	いしかわ子ども総合条例による策定義務対象の拡大など	
	(従業員100人以上の企業→50人以上の企業)	
	一般事業主行動計画の質的向上	5,460 千円
	モデル企業に対するコンサルティングの実施と成功事例の普及、	
	コンサルタントの養成・派遣、優良取組企業の表彰など	
・	子どもの誕生と健やかな育ちへの支援	
—	不妊に関する相談から治療までの切れ目のない支援	
	⑧ 不妊や妊娠の悩みに関する専門相談の充実	4,628 千円
	昼間相談 週5日→6日	
	体外受精や薬物治療、人工授精等不妊治療費に対する助成	70,482 千円
—	⑧ 妊婦健康診査支援基金による健診受診の奨励	346,827 千円
	公費負担回数の拡大(最大14回まで)	

ー	マイ保育園制度による育児支援	2,655 千円
	妊娠時から3才未満児の育児期間中、登録保育所等で 育児相談・育児体験等を実施	
ー	マイ保育園を活用した子育て支援の実施	29,416 千円
	子育て支援プランの作成・地域と連携した取り組みに対する助成、 ㊦在宅乳幼児の保育所体験	
ー	㊦保育所を活用した子育て力の強化	7,200 千円
	親の保育業務体験による育児ノウハウの習得支援	
ー	㊦企業と保育所の連携による子育て支援の推進	4,650 千円
	従業員の保育ニーズと受入可能保育所とのマッチング、 従業員のニーズに応じた延長保育拡充への支援	
ー	㊦保育環境整備基金の活用による児童福祉施設への支援の拡充	671,754 千円
	保育所整備	33カ所
	子育て支援センター整備	1カ所
	放課後児童クラブ整備	11カ所
	児童館整備	1カ所
	認定子ども園(幼稚園型)運営	3カ所
ー	子どもを取り巻く医療環境の整備	
	小児救急電話相談の実施(毎日夜間)	11,633 千円
	薬局を活用した子どもの健康相談	1,200 千円
	子どもの健康サポート薬剤師の養成、休日夜間の子どもの薬電話相談など	
	乳幼児医療費助成制度	423,594 千円
	入院:就学前児童まで、通院:3歳児まで	
	ひとり親家庭等医療費助成制度	141,337 千円
	18歳までの児童を持つ母子・父子家庭等に対する医療費助成	
ー	子どもの心のケアネットワークの運営	3,772 千円
・	家庭、保育所、学校、地域等における食育の推進	
	いしかわ食育推進大会の開催	1,261 千円
	地域版・家庭版食育推進計画の策定支援	2,004 千円
	計画の募集・認定、優良計画の表彰など	
	㊦栄養教諭の計画的配置	
	全市への複数配置	
・	子どもの権利擁護と自立支援	
ー	子ども虐待防止総合対策の強化	50,788 千円
	㊦地域子ども見守り員の養成、児童虐待防止キャンペーンなど	
ー	児童養護施設入所児童等の自立支援	6,408 千円
	自立支援アドバイザーの派遣など	
ー	母子家庭等の自立支援	33,441 千円
	プレ訓練付き職業訓練、自立支援給付金の支給など	
(2)	高齢者の健やかな暮らしへの支援	
ー	介護保険制度の円滑な実施	
	地域支援事業の推進	353,592 千円
	介護予防事業(特定高齢者の選定、筋力トレーニング、栄養改善指導など)、 地域包括支援センターによる総合相談等の実施	
	ケアマネジメントの質の向上	14,435 千円
	介護支援専門員更新研修、主任介護支援専門員養成研修等の実施	
	介護サービスの適正な実施	9,652 千円
	介護保険制度利用者の利用料軽減、 地域包括支援センター・認知症高齢者グループホーム等職員の研修の実施	
	㊦地域における医療と介護の連携体制づくりの推進	1,000 千円
	先進事例の研究、意見交換会の開催	

	介護保険関連施設の整備	404,170 千円
	特別養護老人ホーム等	3カ所
—	高齢者虐待防止総合対策の推進	2,537 千円
	㊦社会福祉士・弁護士による専門相談体制の整備	
—	在宅の認知症高齢者に対する地域支援体制の整備推進	12,000 千円
	かかりつけ医と専門医等による事例検討会の開催、地域における 認知症への理解の促進、徘徊高齢者の捜索・発見体制構築	
—	生きがいと社会参加の促進	
	第23回全国健康福祉祭(ねんりんピック石川2010)の開催準備	85,994 千円
	H22年10月開催	
	㊦スタンプラリーを活用した高齢者の閉じこもり防止・健康づくり	2,100 千円
	老人クラブ事業等への参加促進	
—	福祉・介護人材の育成支援	
	㊦障害者自立支援対策等臨時特例基金の活用による福祉・介護 人材の育成・定着支援	70,000 千円
	就業していない介護福祉士等の再就業研修など	
	㊦介護福祉士等修学資金の拡充(第1次3月補正)	386,736 千円
	貸付限度額の増額、返還免除期間の短縮など	
	㊦離職者を対象とした介護福祉士の養成(60人)(再掲)	45,880 千円
(3) 障害者の自立と社会参加への支援		
—	障害者自立支援対策等臨時特例基金の活用による支援	512,326 千円
	事業者に対するサービス報酬の激変緩和措置、施設整備に対する助成など	
—	授産施設等で働く障害者の安定的な収入の確保	6,500 千円
	授産事業のマッチング、共同受注システムの構築、 経営アドバイザーの派遣による製品開発支援・経営改善指導など	
—	障害者支援施設の整備支援	21,086 千円
	グループホーム・ケアホーム	5カ所
—	錦城学園の改築(H21年度完成)	135,728 千円
—	新総合養護学校の校舎等整備	債務を含め 1,033,282 千円
	H22年4月開校	
—	特別支援教育における障害に応じた指導方法の改善	2,860 千円
	㊦理学療法士等との連携推進	
—	障害のある生徒のインターンシップの促進	4,223 千円
	職場実習の実施、就労サポーターの派遣など	
—	発達障害支援センターの運営	6,970 千円
—	発達障害者に対する就労支援	20,000 千円
	㊦金沢産業技術専門学校における職業訓練	
—	自閉症支援センターの運営	24,576 千円
(4) 県民のこころとからだの健康づくり		
・	いしかわ健康フロンティア戦略の推進	
—	本県独自の課題・特色を踏まえた健康の「増進」、「回復」、「維持」	6,240 千円
	eラーニングによる健康づくりに関する知識習得講座、 ㊦生活習慣病対策に積極的に取り組む企業の表彰、 ㊦子どもから親への健診受診・禁煙・生活改善等の働きかけなど	
—	後期高齢者医療広域連合が実施する健診事業への支援	64,921 千円
・	自殺対策の推進	
—	自殺対策行動計画に基づく総合的な対策の展開	2,930 千円
	㊦保健福祉センターと各種相談機関による自殺予防支援ネットワーク構築など	

- (5) 男女共同参画社会の形成
- － 企業における女性のチャレンジの支援 1,358 千円
ワークライフバランスに取り組む企業を対象とした男女共同参画の実践など
 - － 男女共同参画推進員のネットワーク強化 2,072 千円

4 安全でうるおい豊かな環境づくり

(1) 官民一体となった災害に強い県土づくり

- ・ 災害等に備えた体制の強化
 - － ⑧ 災害危機管理アドバイザーの設置 800 千円
災害発生時の対応や平素の危機管理への専門的助言など
 - － ⑧ 災害派遣医療チームの資機材整備(第1次3月補正) 34,803 千円
中央病院など3病院に配備
 - － 自主防災の取り組み支援 8,301 千円
自主防災組織の拡充、⑨地域防災リーダーとなる防災士の育成など
 - － 防災学習の推進 3,800 千円
⑩小学校高学年向け夏休み防災教室の開催、⑪防災教育DVDの作成
 - － ボランティアによる被災者救援活動の円滑化 1,770 千円
災害ボランティアコーディネーターの養成、
市町災害ボランティア担当者等研修の実施
 - － 国民保護計画の推進 6,693 千円
⑫国との共同訓練の実施、フォーラムの開催など
- ・ 頻発する集中豪雨に対する治水対策の強化
 - － 新たな河川管理体制の構築
初動体制の強化 6,000 千円
⑬水防警報の早期発表、⑭防災関係者の対応力強化訓練、
⑮行政・住民の合同水防訓練
 - 雨量・水位等の情報提供強化 35,200 千円
浅野川の浸水想定区域図・洪水避難地図の見直し、
⑯防災関係者に対する雨量・水位情報の自動配信
 - 河川管理施設の充実 58,000 千円
⑰陸閘の構造改善、⑱浅野川河川敷へのサイレン設置など
 - － 河川改良 3,255,000 千円
(うち第1次3月補正 200,000 千円)
浅野川・犀川の一体的河川改修、栗津川・柴山瀧・鷹合川など浸水多発
区間の重点整備、⑲雨水流出抑制の検討など
 - － ⑲ 河川堆積土砂の緊急除去(第1次3月補正) 712,000 千円
住宅密集地周辺、ボトルネック箇所など緊急性の高い箇所を全て除去
 - － 辰巳ダムの建設 2,800,000 千円
 - － 北河内ダムの建設 1,396,000 千円
- ・ 災害に強い県土の基盤づくり
 - － 民間住宅・建築物の耐震化の促進 4,770 千円
耐震診断・耐震改修への支援
 - － 公共施設等の耐震化
指定避難施設である県立学校等体育館の耐震化 204,658 千円
新たに市町の避難施設に指定された7施設10棟をH21・22で整備完了
県立学校の耐震化・大規模改造 438,303 千円
 - － ⑳ 橋りょうの戦略的な長寿命化補修 941,000 千円
 - － 砂防地すべり対策 債務を含め 3,300,355 千円
(うち第1次3月補正 281,895 千円)
 - － 治山対策 1,245,817 千円

(2) 安全で良質な地域医療の安定的な確保

- ・ 医師不足の解消に向けた医師確保対策の推進
 - － 医師の養成や臨床研修医の確保に対する支援
 - 医学部進学者の増加を図る高校生対象セミナーの開催 600 千円
 - ⑧ 緊急医師確保修学資金の貸与による県内勤務医師の養成支援 12,000 千円
金沢大学医学類特別枠入学者5人に貸与
 - ⑧ 地域医療を担う医師の養成に向けた教育・指導体制の研究 30,000 千円
寄附講座の設置
 - ⑧ 県外の著名な指導医による臨床研修病院の指導体制の強化 1,700 千円
臨床研修医等の確保に向けたシンポジウムの開催 1,500 千円
地元出身医学生等への働きかけ
 - － 退職医師・UIターン医師等の確保
 - ⑧ 県ゆかりの著名医師の協力による県内勤務医師確保の取り組み 1,600 千円
情報収集ネットワークの構築、県内就業の働きかけ
 - 地域医療人材バンクの充実 1,000 千円
地元出身の県外医師や医学生の人材情報収集、
UIターン希望医師と病院とのマッチングなど
 - － 女性医師の仕事と子育ての両立支援 1,500 千円
⑧ 女性医師支援センター(仮称)の開設
 - － 医師不足地域における医療の確保
 - 能登北部地域医療協議会への支援 1,000 千円
能登北部公立4病院の連携強化方策などの検討
 - 大学関係者による地域医療の確保に向けた研究等に対する支援 3,000 千円
研修医の確保策、医師派遣の新たな仕組みづくりなど
 - ⑧ 医師不足地域の病院への医師派遣の推進 3,000 千円
派遣医師を活用した診療機能の向上や勤務医のレベルアップへの支援
 - － 特定診療科(小児科・産科・麻酔科)の医師の確保
 - 地域医療支援医師修学資金の貸与 14,400 千円
 - － 病院勤務医師の勤務環境改善
 - ⑧ 時間外診療を支援する開業医に対する研修 1,000 千円
救急外来担当看護師に対する研修 1,000 千円
 - ⑧ 救急勤務医手当、分娩手当の支給に対する支援 99,200 千円
 - － 救急医療提供体制の強化 4,372 千円
 - ⑧ 救急患者の搬送・受入に関するマニュアルの策定、
 - ⑧ 小児医療や周産期医療に関するシンポジウムの開催など
- ・ 質の高い医療の提供
 - － 医療機関の役割分担・連携に基づく適切な医療サービスの提供 2,000 千円
急性期、回復期、在宅医療に至るまでの各医療機関の連携による
治療計画(地域医療連携クリティカルパス)の策定・普及
 - － がん対策推進計画に基づくがん医療の充実
 - がん診療連携拠点病院の体制整備 44,000 千円
相談支援体制の充実、がん医療従事者に対する専門研修など
 - ⑧ がん放射線治療施設の整備(中央病院) 債務を含め 1,604,260 千円
H22年10月完成予定
 - がん緩和ケア体制の充実 10,276 千円
在宅緩和ケア支援センターの運営支援、
医師対象の緩和ケア研修の実施、在宅医療ネットワークの構築検討など
 - がん看護ケアに関する臨床実務研修の実施 1,862 千円
 - － 新型インフルエンザ対策の推進 114,456 千円
 - ⑧ 抗インフルエンザウイルス薬(タミフル・リレンザ)の追加備蓄

—	看護師の質の向上・就業定着の推進	3,575 千円
	モデル病院における新人看護師教育指導体制の強化、 ⑩勤務環境改善トップセミナーの開催、⑩「職場復帰を考える集い」の開催など	
—	後期高齢者医療制度の円滑な実施	2,203,872 千円
	財政安定化基金の積立、低所得者に対する保険料の軽減など	
(3)	身近な安全・安心が確保された社会づくり	
・	食の安全・安心確保総合対策の推進	
—	食品の適正表示の推進	
	食品事業者の内部チェック体制整備の取り組み支援	1,300 千円
	標準的な食品表示チェックリストの普及、リスト作成済企業のフォローアップ	
	食品表示の監視・指導等の充実	6,108 千円
	加工食品製造業者への監視・指導、米のDNA鑑定の実施など	
—	高病原性鳥インフルエンザ予防対策の推進	2,016 千円
	ウイルスの監視・防疫体制の強化	
・	安全・安心な消費生活社会づくりの推進	
—	⑩消費者行政活性化基金の活用による市町相談体制等の強化	76,000 千円
	市町消費生活センターの設置支援、相談員の育成・スキルアップなど	
—	被害の未然防止のための消費者教育の充実	9,857 千円
	出前講座の開催、ストップ多重債務キャンペーンの実施など	
—	不適正な取引の監視	7,089 千円
	専任調査員の配置、立入調査の実施	
・	配偶者等からの暴力対策の推進	
—	相談体制の充実・被害者の自立支援	6,918 千円
	DVホットライン・弁護士を設置、就職支援、語り合う場の提供、 デートDV(交際相手からの暴力)の防止啓発セミナーなど	
・	身近な治安対策の充実	
—	⑩治安維持体制の強化	
	警察官の増員(11人)	
—	⑩運転免許証の偽造・変造防止に向けたIC免許証の導入	64,268 千円
—	安全で安心な地域社会づくりに向けた防犯まちづくり意識の向上	1,813 千円
	地域防犯リーダー育成など	
—	⑩犯罪被害者等支援の推進	650 千円
	ハンドブックの作成、キャンペーンの実施など	
—	小学校通学路の安全確保の推進(全小学校で実施)	17,339 千円
	保護者や地域住民のボランティア活動に対する支援	
・	交通安全対策の充実	
—	交通安全施設の整備	1,098,232 千円
	(うち第1次3月補正 46,000 千円)	
—	交通安全対策の充実	9,305 千円
	官民挙げた飲酒運転根絶運動(石川版ハンドルキーパー運動)の展開、 ⑩高齢ドライバー・自転車運転者を対象とした交通安全指導など	
・	生活に密着したきめ細やかな道路整備	
—	⑩生活密着型道路の重点整備	3,067,551 千円
	(うち第1次3月補正 1,307,791 千円)	
	通学路の蓋付き側溝、幹線道路の舗装補修など	
—	⑩安全・安心な歩行空間の確保	278,000 千円
	(うち第1次3月補正 258,000 千円)	
	歩道の新設・拡幅・バリアフリー化など	
—	⑩安全・安心な走行環境の整備	484,000 千円
	(うち第1次3月補正 378,000 千円)	
	消雪装置、冠水防止、照明灯、ガードレールなど	

(4)	地球温暖化防止の取り組みと環境負荷の少ない社会づくり	
	・ 地球温暖化防止の取り組み	
	ー 民生部門における省エネ活動の推進	
	「県民エコライフ大作戦」の充実	4,385 千円
	取組の通年化に向けた実施時期の変更(夏→冬)、取組項目の追加など	
	いしかわ版環境ISO(学校・地域・家庭・事業者版)の普及促進	14,800 千円
	優れた環境保全活動に取り組む学校や地域へのエコギフトの還元、 エコ保育所・幼稚園のモデル実施など	
	⑧ エコチケットを活用したCO ₂ 排出量削減の取り組みのモデル実施	5,000 千円
	削減量に応じたメリットの還元	
	いしかわ流エコリビングの普及	5,500 千円
	⑧エコリビングサイトの開設、⑧エコリビング優秀者の表彰、 ⑧エコ改修技術者の養成など	
	⑧ エコリビング設備整備の促進	12,500 千円
	太陽光発電など住宅省エネ設備整備に対する助成	
	ー 産業部門や運輸部門における省エネ活動の推進	
	いしかわ事業者版環境ISOの深化・ステップアップ	4,200 千円
	⑧産業部門における業種別省エネマニュアルの作成・普及(繊維工業編)	
	⑧ 地球温暖化対策支援融資の創設	新規融資枠 200,000 千円
	省エネ設備整備・施設改修など	
	⑧ 企業・民間団体と連携したエコドライブの推進	2,800 千円
	推進事業所の募集・登録、マニュアルの作成など	
	ー ⑧ 環境人材の育成とネットワークの構築	4,000 千円
	実践型講習による指導者の養成と地域・学校・企業等への派遣	
	ー いしかわ森林環境税による森づくりの推進	
	水源地域等の手入れ不足林に対する強度間伐の実施	650,145 千円
	森づくりに対する理解の増進	12,300 千円
	森林環境実感ツアー、フォーラムの開催など	
	県民参加の森づくりの推進	23,700 千円
	いしかわの森整備活動CO ₂ 吸収証書の発行、 小中高校生の森林体験活動、「もりの保育園」事業の推進など	
	・ 循環型社会の形成	
	ー 企業の廃棄物減量化の推進	1,020 千円
	アドバイザー派遣による産業廃棄物の排出抑制支援など	
	ー 産業廃棄物適正処理対策の推進	18,603 千円
	管理票(マニフェスト)の電子化推進、監視機動班による立入調査など	
	・ 生活環境の保全	
	ー ⑧ 閉鎖性水域の水質浄化技術の実用性検証	4,500 千円
	河北潟における民間技術の実用化に向けた耐久性等の実験	
	ー 湖沼における水辺環境モデル事業の実施	1,348 千円
	浮葉植物の植生による水質浄化の検証と原風景の復元	
	ー 生活排水処理施設整備統合補助制度による支援	208,379 千円
(5)	自然と人が共生できる社会づくり	
	・ 自然環境の保全	
	ー ⑧ トキ繁殖ケージ等の整備(第1次3月補正)	174,400 千円
	ー ⑧ トキ分散飼育の受入に向けた体制整備	18,000 千円
	飼育研修、トキと人との生活史調査など	
	ー ⑧ 第64回全国野鳥保護のつどいの開催準備	2,400 千円
	H22年5月開催	
	ー 生きものキッズ・レンジャー隊による環境保全	1,046 千円
	子どもを中心とした地域の取り組みによる希少野生動植物の保護活動など	

- いしかわレッドデータブック(植物編)の改訂 2,707 千円
- 人と野生鳥獣との共生推進 6,141 千円
クマ・イノシシの生態・分布等調査、有害鳥獣捕獲者の育成、
和牛放牧等によるクマ・イノシシ出没対策のモデル実施など
- ・ 里山里海の利用・保全 ～2010年「国際生物多様性年」に向けて～
 - 「生物多様性戦略ビジョン」の策定に向けた調査・検討 10,400 千円
 - ⑧ 先駆的里山保全地区における里山の利用・保全の取り組み支援 5,500 千円
地域住民による里山の利用・保全の仕組みづくりに向けた検討など
 - ⑧ 地域や企業、ボランティアによる里山の農地等の保全・再生活動支援 2,000 千円
 - 里山における生物多様性の保全に向けたモデルプロジェクトの実施 1,400 千円
 - 七尾湾における里海創生プロジェクトの実施 2,000 千円
 - 生物多様性に配慮した農業の推進
水路やビオトープ等の整備 15,500 千円
 - ⑧ 希少生物の生息環境に配慮した農業技術の実証 1,000 千円
 - ⑧ 里山の資源を活かした産業創出支援 2,500 千円
里山資源の掘り起こし、里山ビジネスに意欲のある企業と大学のマッチングなど
 - エコツーリズムの推進(再掲) 1,500 千円
 - ⑧ 里山里海に暮らす人々の知恵の伝承調査 2,000 千円
 - 里山を構成する棚田・ため池などの公益的機能の調査 20,000 千円
 - 里山景観の保全・再生の取組手法の調査 3,000 千円
 - 里山里海国際交流フォーラムの開催(再掲) 2,000 千円
 - ⑧ アジア太平洋環境開発フォーラムの開催(再掲) 12,000 千円
 - いしかわり山里海フェアの開催(H21年10月) 2,500 千円
夕日寺健民自然園ほか
 - ⑧ いしかわグリーン・ウェーブ2009の開催(H21年5月22日) 1,000 千円
国際生物多様性の日における世界的な一斉植樹イベント
- ・ 自然とのふれあいの推進
 - いしかわ自然学校の実施 10,224 千円
インストラクタースクール運営、指導者派遣、白山まるごと体験教室開催など
 - いしかわ子ども自然学校の実施 9,618 千円
個人参加型自然体験プログラムの実施
 - 「もりの保育園」事業の推進(再掲) 900 千円

5 自律した持続可能な地域づくり

(1) 能登半島地震からの創造的復興

- ・ 安全・安心な暮らしの再建
 - 住宅の再建支援 30,000 千円
能登半島地震被災者の生活再建支援(県制度)
住宅の建設等に対する支援(復興基金)
 - 復興の核となる道路整備(一部再掲) 債務を含め 1,216,530 千円
能登有料道路、大町通り線・本町線・穴水刃地線(穴水町)、
和倉港和倉駅線・府中七尾駅線(七尾市)、河井町横地線(輪島市)、
春日通り線(珠洲市)、新町通り線(能登町)
- ・ 地域の特色ある産業・経済の復興(中小企業復興支援基金)
 - 中小企業の復興支援
重点支援業種(輪島塗、商店街、酒造業)への支援
首都圏等での展示会、商店街イベント等に対する助成
販路開拓への支援
特産品等の共同販売所設置等に対する助成

- ・ 持続可能な地域づくり
 - － 地域資源の保存・活用
 - 能登ブランドの振興・創生支援
 - 地域資源を活用した地域づくり、まちづくりの取り組み支援(復興基金)
 - 能登らしい景観・文化の保全・活用
 - 角海家の修復と活用に対する支援
 - － 交流とにぎわいの創出
 - 大都市圏等との交流創出イベントに対する支援(復興基金)
 - 交流居住等の推進
 - 移住・交流居住の受入を担う組織の創設・育成に対する支援(復興基金)
 - ・ 風評被害の払拭キャンペーン(中小企業復興支援基金)
 - － 能登ふるさと博の開催(再掲)
 - － 全国への情報発信
 - ⑧施設利用券プレゼントキャンペーン、マスメディアとのタイアップなど
- (2) 地域主導の地域づくりへの支援
- － 奥能登ウェルカムプロジェクトの推進 8,000 千円
 - 「能登本まぐろ」の活用など地域ブランドとしての「能登井」の魅力向上、体験観光メニューの開発など
 - － ⑧ヘルスツーリズム推進モデルの検討(再掲) 4,000 千円
 - － 交流居住等の推進
 - 移住・交流居住の受入を担う組織の創設・育成に対する支援(復興基金)(再掲)
 - － のと鉄道能登線跡地利活用に対する支援
 - ⑧旧宇出津駅の利活用整備(実施設計) 600 千円
 - 旧珠洲駅の利活用整備(物産販売・観光情報提供施設など) 763 千円
 - － 能登有料道路料金軽減対策 135,000 千円
 - － 地域づくりの担い手の育成、支援 6,200 千円
 - 地域づくりリーダーの育成など
- (3) 魅力ある石川の景観の保全と創出
- － 景観づくりを担う人材の育成 8,900 千円
 - 景観づくりリーダーの育成、⑧景観キッズプログラムの開催など
 - － 官民協働による景観づくりプロジェクトの推進
 - ⑧地域の修景計画・景観協定づくりへの支援 5,000 千円
 - ⑧重点モデル地区における無電柱化による街なみ景観形成 70,000 千円
 - 専光寺野田線・小立野線(金沢市)、和倉港和倉駅線(七尾市)
 - ⑧沿道ビュースポットの整備 15,000 千円
 - － 景観形成重要地域におけるエコサイン導入への助成 2,000 千円
 - － 白山眺望の視点場サインの設置(木場潟) 4,200 千円
- (4) 中心市街地の再生・活性化
- － 街づくりと一体となった街路整備(一部再掲) 1,016,050 千円
 - 都市ルネッサンス石川・都心軸、街なか再生・目抜き通りの整備
 - 七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、かほく市、能登町
 - － 無電柱化の促進(一部再掲) 655,000 千円
 - (うち第1次3月補正 60,000 千円)
 - － 都市部における公共交通機関の利用促進
 - 都心軸の交通円滑化に向けた交通実験の実施 4,000 千円
 - JRを活用したパーク・アンド・レールライド実験
 - － ⑧商店街の賑わい創出への支援(産業創出支援機構) 2,000,000 千円
 - 商業活性化推進基金の増額(15億円→20億円)
 - 商店街のイベント・空き店舗活用などへの支援

(5)	快適な生活空間づくり	
—	地域公共交通の維持確保	
	生活路線バスの運行支援	221,256 千円
	バス事業者等が取り組む利用促進策の支援	10,000 千円
—	公共交通機関の充実	56,150 千円
	路線バス・鉄道車両の安全対策、バリアフリー化支援	
—	のと鉄道転換バス利用者負担の軽減	42,845 千円
—	のと鉄道運行維持への支援	73,850 千円
—	地域情報基盤の整備	
	ケーブルテレビ施設の整備支援(5地区)	13,350 千円
	携帯電話不感地帯の解消(4地区)	128,917 千円
—	良好な分譲宅地の供給(住宅供給公社)	
	㊦子育て世帯・シニア同居世帯等に対する割引制度の創設など	
—	エネルギー対策の推進	1,037,601 千円
	電源立地地域対策	

(6)	支え合いによる活力ある地域コミュニティの再生	
—	県民の自主的な活動の促進	
	NPO活動支援センターの運営	12,749 千円
	社会貢献活動への参加促進	2,800 千円
	NPO地域相談会の開催、NPOと県民のマッチングなど	

6 未来を拓く心豊かな人づくり

(1)	個性を伸ばす学校づくり	
・	活力にあふれた魅力ある学校づくり	
—	㊦石川の教育振興基本計画(仮称)の策定(H22年度)	5,000 千円
—	小・中学校における学力向上対策の推進	
	小・中学生の基礎学力調査の実施	12,504 千円
	小学校4年生、6年生、中学校3年生	
	㊦学力調査の結果分析とそれに基づく指導法の改善	3,000 千円
	活用力向上モデル校の取り組みに対する支援	3,460 千円
	活用力向上支援アドバイザーの派遣	2,000 千円
	基礎的・基本的な知識・技能定着のための補充学習の実施	1,600 千円
	退職教員等外部人材を活用した指導の充実	123,600 千円
	小学校の算数・理科の充実、中学校の習熟度別指導	
—	石川の学校教育振興ビジョンの推進	30,000 千円
	達成目標を掲げた学校ごとの主体的な取り組み支援	
—	いしかわスーパーハイスクールの推進(5校)	4,000 千円
	先端科学教育、高度な語学教育の実践など (金沢泉丘、小松、七尾、金沢二水、金沢桜丘)	
—	㊦高等学校における学力向上実践モデル校の指定(10校)	3,500 千円
	学習意欲を高める学校ごとの取組支援など	
—	大学連携による教員の養成・資質向上	1,900 千円
	大学教授による実践的ゼミナールの開催など	
—	教職員研修体系の見直し	
	㊦教育センターへの研修の一元化、㊦学校のニーズに応じた校内研修など	
—	㊦学校における組織運営・指導体制の充実	
	副校長、主幹教諭、指導教諭を大規模校に配置(小・中・高等学校)	
・	いじめ・不登校対策・非行防止の推進	
—	㊦ネットトラブルの未然防止に向けたブログ等の巡視・指導	1,500 千円
—	携帯電話の有害情報対策の推進	1,500 千円
	保護者向け啓発チラシの作成・配付など	

—	24時間対応いじめ相談テレホンの設置	6,257 千円
—	中学校1年生の不登校問題への対応に向けた35人学級選択制の実施	
—	いじめ・不登校に対する教員の対応力の向上 人間関係づくり実践講座の開催	1,300 千円
—	学校におけるカウンセリングの強化 スクールカウンセラー・教育相談員の配置	69,148 千円
—	不登校対応支援チームの高等学校への派遣 臨床心理士、精神科医等の専門家チーム	1,000 千円
—	生徒指導サポーターの配置	10,997 千円
—	やすらぎ教室の運営 スーパーバイザー(精神科医等)の配置など	14,178 千円
・	石川県育英資金の貸与 ㊦緊急採用枠の拡充(高校生25人→50人)	
・	県立高等学校の再編	
—	再編校の校舎改修等(第1次3月補正) 七尾東雲高等学校演劇実習施設整備、 志賀・能登・小松北高等学校校舎改修	216,498 千円
—	七尾東雲高等学校演劇科における特別授業の実施 無名塾の俳優などによる講義や実技指導など	3,100 千円
—	遠距離通学者等に対する支援 ㊦再編校の通学者に対する助成(志賀、能登) 石川県育英資金の貸与(再編整備枠60人)	3,368 千円
・	県立学校の整備	
—	併設型中高一貫教育校の整備 金沢錦丘中学校・高等学校(H21年度完成)	645,920 千円
—	㊦金沢商業高等学校の改築(実施設計)	56,000 千円
—	新総合養護学校の校舎等整備(再掲)	債務を含め 1,033,282 千円
(2)	建学の精神を尊重した私学の振興	
—	私立学校の教育施設・設備整備に対する支援	25,248 千円
—	私立幼稚園の預かり保育の実施に対する支援	28,259 千円
—	私立幼稚園の子育て支援施設整備に対する支援	12,236 千円
—	経常費助成 (補助単価)	4,207,050 千円
	高等学校	336,949円/人
	中学校	283,029円/人
	小学校	280,850円/人
	幼稚園	183,450円/人
	専修学校	27,100円/人
(3)	スポーツ・生涯学習の振興	
—	トップアスリートに対する科学的トレーニングの推進 いしかわ総合スポーツセンターを活用した効果的なトレーニングの実践	3,600 千円
—	㊦天皇賜杯第64回全日本軟式野球大会の開催支援 H21年9月11日～16日	3,000 千円
—	㊦屋内アイススケートリンクの整備支援(H21年9月オープン) 健民スポレクプラザ内	19,920 千円
—	㊦第2回ボーイスカウト環日本海大会の開催支援 H21年8月6日～10日	2,000 千円

7 魅力ある産業としての農林水産業づくり

(1) 次世代に向けた農業人材の育成

- ・ ⑧ いしかわ農業人材育成推進会議の設置
- ・ ⑧ 農業人材政策室の設置
- ・ ⑧ (財)いしかわ農業人材機構(仮称)の創設((財)石川21世紀農業育成機構を改組)
 - － 農業に関するワンストップ窓口の設置 4,837 千円
 - － 「いしかわ耕稼塾」による農業人材の育成
 - 農家後継者など既存農業者のスキルアップ 920 千円
 - 経営スキルを磨く演習形式の訓練、民間企業への派遣研修など
 - 新規就農者・参入企業の従業員に対する実践トレーニングの実施 10,903 千円
 - 基礎コース、生産から販売までを経験し経営感覚を育む実践コース、奥能登の先進農家での実践訓練など
 - － 新規就農者と受入農家とのマッチング 1,436 千円
 - コーディネーターの設置
- ・ 認定農業者等への農地集積の推進
 - － 連担した農地集積に対する助成 35,200 千円
 - － 規模拡大等に伴う農業機械整備への助成 120,612 千円
 - ⑧小規模農地が多い奥能登における農地集積の面積要件緩和
 - － ⑧ 奥能登における広域的な農作業受委託の促進 1,900 千円
 - 広域農業アシストセンター(仮称)による受委託の仲介
- ・ 企業の農業参入に対する支援
 - 参入時の初期投資への助成 5,580 千円
 - いしかわ産業化資源活用推進ファンドを活用した支援
- ・ 県民総ぐるみで農業を支えるしくみづくり
 - － 一般県民の農業への理解を深めるための普及啓発 1,600 千円
 - シンポジウム・セミナーの開催、農作業体験コース(いしかわ耕稼塾)など
 - － 地域ぐるみで行う農地・水・環境保全向上活動への支援 114,840 千円
 - 農地・農業用水等の良好な保全活動、環境負荷軽減活動など
 - － ボランティア・企業による集落支援活動の推進 900 千円
 - 社会貢献活動による農作業などの実施、受入希望集落とのマッチング
 - － ⑧ 地域や企業、ボランティアによる里山の農地等の保全・再生活動 2,000 千円
 - 支援(再掲)

(2) 消費者ニーズに応える戦略的な生産と流通の確立

- － 戦略作物を核とした産地づくりとブランド化の推進
 - ブランド確立に向けた販売戦略の展開 3,300 千円
 - ブランド食材プロデューサーの設置、効果的な情報発信など
 - ぶどう「ルビーロマン」の出荷販売とPRに向けた取り組みへの支援 2,000 千円
 - 一元出荷・品質管理体制の整備、販売キャンペーンの展開など
 - 戦略作物の生産拡大に対する支援 10,657 千円
 - 低コスト・高品質生産技術の研究開発、現地実証、産地に対する助成
- － 売れる米づくりの推進
 - 需要に対応した米づくりの推進 3,572 千円
 - うまい・きれい石川米づくり運動の推進など
 - ⑧ 米粉等新たな需要への対応 1,200 千円
 - 需要開拓、新商品づくり支援など
- － 能登の気候風土を活かした農産物の振興 1,500 千円
 - 「能登野菜」の供給体制づくり、販売促進への支援
- － 大都市圏への新たな販路の開拓 11,855 千円
 - 首都圏での受注懇談会、首都圏の実需者との交流会、
 - ⑧関西圏での加工・外食業者等との商談会など

—	地産地消の推進	
	サポートデスクを核とした地産地消の促進	6,000 千円
	⑧受注懇談会による県産食材の安定供給の支援など	
	⑧ 奥能登の特色ある食材の市場流通の拡大	2,000 千円
	JA、市場等の連携による食材の新たな市場流通モデルの構築	
(3)	競争力のある林業・木材産業の育成	
—	間伐促進に対する支援	
	木材乾燥機、高性能林業機械の導入	44,866 千円
	作業路の開設(第1次3月補正)	247,380 千円
—	住宅への県産材利用の促進	
	県産材使用住宅取得に対する支援	6,000 千円
	金融機関の優遇ローン等の住宅メーカーへの普及	400 千円
	⑧ 展示住宅整備への助成(第1次3月補正)	30,400 千円
(4)	水産資源の回復と流通の効率化による水産業の活性化	
—	資源管理による水産資源の保護と収益性の向上	7,290 千円
	漁網の網目拡大、鮮度保持・活魚出荷技術の実証	
—	⑧ トラフグのブランド化に向けた資源の増大	1,500 千円
	七尾北湾における産卵生態・放流効果調査など	
—	⑧ 「能登本まぐろ」のブランド化支援	1,800 千円
	通年供給体制の確立に向けたブランド化推進協議会の設置、 販売促進、品質向上対策など	
—	漁業者と首都圏のスーパーマーケット等との連携による販路の拡大	2,500 千円
	県産水産物を使用した商品づくりに対する支援	
(5)	農林水産業・農山漁村の多面的な機能の保全・発揮	
—	地域ぐるみで行う農地・水・環境保全向上活動への支援(再掲)	114,840 千円
—	中山間地域等直接支払制度による農地の保全	421,000 千円
—	いしかわ森林環境税による森づくりの推進(再掲)	686,145 千円
—	森林整備地域活動支援交付金による森林の適切な整備促進	117,468 千円
—	離島漁業再生支援交付金による漁場環境の保全	6,596 千円
—	里山を構成する棚田・ため池などの公益的機能の調査(再掲)	20,000 千円

Ⅲ 地方分権時代における自立かつ持続可能な行財政基盤の確立

1 厳しい財政状況の下での財政健全性の維持

- ・ 歳入確保に向けた取り組み
 - 税収の確保
 - 税源移譲を踏まえた個人住民税徴収対策の強化
 - ⑧市町との税務職員相互派遣
 - ⑧個人県民税の県による直接徴収の拡大
 - 税負担の公平を図る滞納整理の促進
 - タイヤロックによる自動車の差押え、インターネット公売の実施など
 - 納税者の利便性の向上
 - ⑧ゆうちょ銀行の収納代理金融機関指定(H21年4月)
 - ⑧自動車税コンビニ納税導入(H22年度)に向けた準備
 - 広告収入の確保
 - ⑧施設利用予約システム・庶務事務支援システムのバナー広告など
 - 遊休財産の整理・処分

- ・ 職員費の削減
 - － 定員適正化計画の推進
知事部局の職員数を5年間(H19～23)で250人程度削減
(前計画と合わせ9年間(H15～23)で550人程度削減)
 - － 給料・諸手当の見直し
常勤特別職の給与減額・期末手当10%減額の延長、
管理職手当の10%減額の延長、
特殊勤務手当の見直し
 - ・ 一般行政経費・投資的経費の見直し
 - － 補助金の見直し
職員互助会への補助金の廃止
 - － ローカルルールによる効率的・効果的な社会資本の整備
 - ⑧ 橋りょうの戦略的な長寿命化補修(再掲)
 - 1. 5車線の道路・農道整備
既存ストックを有効活用した効率的な整備
既存道路敷を活用した道路整備、
既設石積護岸の目地詰め等による機能再生など
 - ・ 公債費の抑制
 - － ⑧ 実質公債費比率の抑制のための繰上償還(18%超え防止対策)
1, 276百万円
 - － 高利県債の繰上償還(公的資金)
1, 566百万円(流域下水道特別会計、水道用水供給事業会計)
- 2 時代の変化や市町・民間との役割分担を踏まえた県行政の守備範囲の見直し**
- ・ 事務事業の見直し、民間への業務移管
 - － 電気事業の民間への譲渡(H21年度末)
 - － 海づりセンターの廃止(H20年度末)
県民ふれあい公社へ譲渡し、運営
 - ・ 特別会計・事業会計事業の見直し
 - － 金沢競馬の経営健全化
場間場外発売・在宅投票の拡充、広報活動の強化など
 - ・ 公社外郭団体の見直し
 - － ⑧ (財)いしかわ農業人材機構(仮称)の創設(再掲)
 - － 林業公社森林公園事務所の廃止
 - － 住宅供給公社の分譲宅地の早期売却と廃止に向けた準備
- 3 事務処理の工夫による業務の効率化**
- ・ 民間ノウハウの活用
 - － ⑧ 外部委託の拡大
道路パトロール業務、除雪パトロール業務、
調理業務(保育専門学園附属泉保育所、障害者職業能力開発校)など
 - － 地方独立行政法人制度の活用
看護大学及び県立大学の公立大学法人化準備(再掲)